

2019年、平成31年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

昨年は1月に前橋育英高等学校男子サッカー部が第96回全国高校サッカー選手権大会において21回目の出場で群馬県勢初の全国制覇を果たし、8月には前橋育英高等学校硬式野球部が記念すべき第100回全国高校野球選手権記念大会出場、今回の



群馬育英学園
理事長 中村義寛

球選手権記念大会に出場しました。また、昨年4月には学園創設からの念願であった、四年制の育英大学の開学に至りました。この育英大学の設立は、長年地域の皆様に支えられ、保育の育英、スポーツの育英として短期大学、高等学校が地域に密着した教育を実践し、本学園がこれまで取り組んできた短期大学での人材育成の実績を踏まえ、より高度な教育や保育・児童教育に貢献できる人材、体育教育やスポーツで社会に貢献できる人材を養成することを目的としたものです。

昨年の前橋育英高等学校硬式野球部の第100回全国高校野球選手権記念大会出場、今回の

ぐんま育英



発行
学校法人 群馬育英学園
広報委員会

前橋育英高等学校男子・女子サッカー部・男子バスケットボール部の全国大会出場支援・応援支援の募金に際しましては、学園協力会・協力企業・高校後援会・保護者会・同窓会・退職者の会・学園教職員等々、ご協力頂きました多くの皆様に心より御礼申し上げます。

学校法人群馬育英学園は、昨年開学した育英大学、育英短期大学、前橋育英高等学校の3校を設置し、更に、系列学園として学校法人群馬英数学館、育英メディカル専門学校(鍼灸学科・柔道整復学科)、学校法人中村学園(朝日が丘幼稚園・認定こども園大根育英幼稚園)があります。今後益々少子化の流れが進行する時代に向かいますが、社会の急速なグローバル化、AI化に対応し、より一層の改革による進化を成し遂げ、地域社会から高く評価される魅力ある総合学園とすべく3学園の連携を図り、邁進してゆく所存です。今後とも関係各位の更なるご理解と、ご協力をお願い申し上げます。

学園の主な行事日程

【育英大学】

◇入試日程

入試種別	試験日	出願期間	合格発表
A O V期	3月26日(火)	3月11日(月)～ 3月20日(水)	3月26日(火)
一般Ⅰ期	2月 7日(木)	1月15日(火)～ 1月31日(木)	2月14日(木)
一般Ⅱ期	3月14日(木)	2月25日(月)～ 3月 8日(金)	3月20日(水)
センター試験Ⅰ期	3月 7日(木)	2月18日(月)～ 2月28日(木)	3月14日(木)
センター試験Ⅱ期	3月26日(火)	3月11日(月)～ 3月20日(水)	3月26日(火)

【前橋育英高等学校】

◎Ⅳ類修学旅行 2月 5日(火)～ 2月 8日(金)

◎学年末試験 2月25日(月)～ 2月28日(木) ◎卒業式 3月 1日(金)

◎終業式 3月22日(金) ◎学年末休業 3月23日(土)～

【育英短期大学】◎卒業研究発表会 2月6日(水) ◎学位授与式 3月16日(土)

◇入試日程 ※AOV期は現代コミュニケーション学科のみ実施

入試種別	試験日	出願期間	合格発表
特待Ⅱ期	2月 7日(木)	1月15日(火)～ 1月31日(木)	2月 8日(金)
一般Ⅰ期	2月 7日(木)	1月15日(火)～ 1月31日(木)	2月 8日(金)
一般Ⅱ期	3月 7日(木)	2月18日(月)～ 2月28日(木)	3月 8日(金)
一般Ⅲ期	3月26日(火)	3月11日(月)～ 3月20日(水)	3月26日(火)

入試種別	エントリー期間	面談日	出願許可発表	正式出願期間	合格発表
AOV期	2月18日(月)～2月28日(木)	3月7日(木)	3月8日(金)	3月9日(土)～3月13日(水)	3月15日(金)

◇入試日程

入試種別	試験日	出願期間	合格発表
学特Ⅱ期	2月 2日(土)	1月21日(月)～ 1月24日(木)	2月 6日(水)
一般	2月 2日(土)	1月21日(月)～ 1月24日(木)	2月 6日(水)

高等学校

事務課長補佐

入試広報課長

教務課次長

教務課長

学生支援課長補佐

管理課長

図書館長・幼児教育研究所長・教授

関書館長・キャリアセンター長・教授

管理課長

学生支援課長補佐

教務課次長

教務課長

入試広報課長

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

事務課長補佐

※は評議員兼任

塚田 恵

桂 健太郎

平澤 朋弘

中澤 秀一

島津 俊二

戸澤 勲

藤島 嘉代仁

関 雅夫

柳川 美磨

松本 尚

朝岡 正雄

西谷 泉

伊藤 憲康

高月 広喜

北原 崇夫

亦野 高裕

石井 昌代

大塚 智子

石井 晃英

遠山 浩二

北條 哲成

中島 篤

関根 映一

根岸 美智代

久住 信雄

武田 雅彦

岡田 神哉

神山 義幸

新井 保幸

富岡 政明

代田 恭之

福島 英人

小野澤 正喜

金子 清志

岩川 正典

佐伯 詔一

高山 耕介

山田 義寛

中村 有三

謹賀新年



平成29年度決算報告

学校法人 群馬育英学園

学園の平成29年度決算は、本年度5月25日(金)に開催された理事会において承認可決され、続いて開催された評議員会に報告されました。平成29年度決算は下記のとおりです。

事業活動収支計算書

平成29年4月1日より
平成30年3月31日まで
(単位:円)

教育活動収支 事業活動収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
学生生徒等納付金	1,404,267,000	1,418,299,250	▲14,032,250
手数料	47,616,000	54,855,820	▲7,239,820
寄付金	116,132,000	118,421,034	▲2,289,034
経常費等補助金	657,276,000	677,114,545	▲19,838,545
付随事業収入	19,020,000	19,043,500	▲23,500
雑収入	39,383,000	48,247,043	▲8,864,043
教育活動収入計	2,283,694,000	2,335,981,192	▲52,287,192
教育活動収支 事業活動支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
人件費	1,433,467,000	1,457,420,263	▲23,953,263
教育研究経費	660,713,000	630,185,386	30,527,614
管理経費	164,782,000	195,923,786	▲31,141,786
徴収不能額等	0	0	0
教育活動支出計	2,258,962,000	2,283,529,435	▲24,567,435
教育活動収支差額	24,732,000	52,451,757	▲27,719,757

教育活動外収支 事業活動収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
受取利息・配当金	200,000	57,614	142,386
教育活動外収入計	200,000	57,614	142,386

教育活動外収支 事業活動支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
借入金等利息	1,134,000	1,117,159	16,841
教育活動外支出計	1,134,000	1,117,159	16,841
教育活動外収支差額	▲934,000	▲1,059,545	125,545
経常収支差額	23,798,000	51,392,212	▲27,594,212

特別収支 事業活動収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
その他の特別収入	20,000,000	47,739,680	▲27,739,680
特別収入計	20,000,000	47,739,680	▲27,739,680

特別収支 事業活動支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
資産処分差額	0	4,592,338	▲4,592,338
その他の特別支出	0	1,000,729	▲1,000,729
特別支出計	0	5,593,067	▲5,593,067
特別収支差額	20,000,000	42,146,613	▲22,146,613

科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
[予備費]	25,000,000	25,000,000	0
基本金組入前当年度収支差額	18,798,000	93,538,825	▲74,740,825
基本金組入額合計	▲537,205,000	▲568,212,170	31,007,170
当年度収支差額	▲518,407,000	▲474,673,345	▲43,733,655
前年度繰越収支差額	▲3,816,745,400	▲3,356,698,341	▲460,047,059
基本金取崩額	0	0	0
翌年度繰越収支差額	▲4,335,152,400	▲3,831,371,686	▲503,780,714

(参考)

事業活動収入計	2,303,894,000	2,383,778,486	▲79,884,486
事業活動支出計	2,285,096,000	2,290,239,661	▲5,143,661

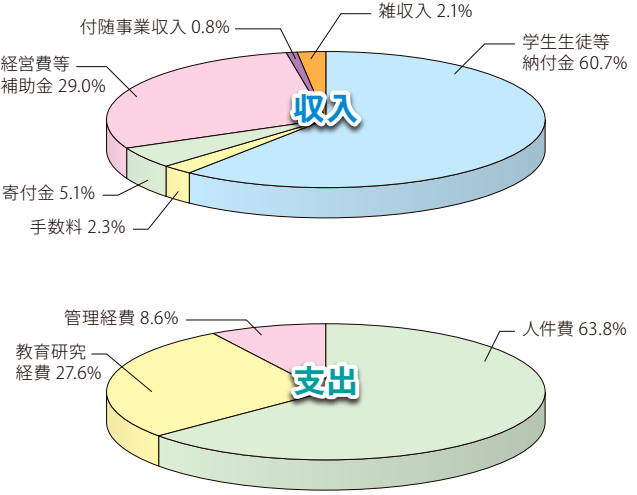
資金収支計算書

平成29年4月1日より
平成30年3月31日まで
(単位:円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
学生生徒等納付金収入	1,404,267,000	1,418,299,250	▲14,032,250
手数料収入	47,616,000	54,855,820	▲7,239,820
寄付金収入	116,132,000	131,619,594	▲15,487,594
補助金収入	677,276,000	697,633,545	▲20,357,545
資産売却収入	0	0	0
付随事業・収益事業収入	19,020,000	19,043,500	▲23,500
受取利息・配当金収入	200,000	57,614	142,386
雑収入	39,383,000	48,889,415	▲9,506,415
借入金等収入	0	0	0
前受金収入	172,450,000	161,425,000	11,025,000
その他の収入	911,802,000	1,206,593,630	▲294,791,630
資金収入調整勘定	▲181,710,000	▲209,829,421	28,119,421
前年度繰越支払資金	1,621,367,212	1,621,367,212	0
収入の部合計	4,827,803,212	5,149,955,159	▲322,151,947

支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異(▲)
人件費支出	1,433,467,000	1,462,086,963	▲28,619,963
教育研究経費支出	493,545,000	455,496,710	38,048,290
管理経費支出	161,142,000	191,659,414	▲30,517,414
借入金等利息支出	1,134,000	1,117,159	16,841
借入金等返済支出	52,860,000	50,769,000	2,091,000
施設関係支出	443,584,000	446,992,981	▲3,408,981
設備関係支出	93,621,000	114,905,583	▲21,284,583
資産運用支出	0	4,111,354	▲4,111,354
その他の支出	1,013,562,000	1,255,281,382	▲241,719,382
予備費	25,000,000	0	25,000,000
資金支出調整勘定	▲23,708,000	▲30,532,373	6,824,373
翌年度繰越支払資金	1,133,596,212	1,198,066,986	▲64,470,774
支出の部合計	4,827,803,212	5,149,955,159	▲322,151,947

平成29年度 事業活動収支構成比率



《注記》

1. 重要な会計方針

(1) 引当金の計上基準

- 徴収不能引当金
未収入金等の徴収不能に備えるため、個別に見積もった徴収不能額を計上する事としている。
- 退職給与引当金
期末要支給額1,093,393,956円から公益財団法人群馬県私学振興会(退職団体)よりの要交付額1,069,031,906円を控除した額24,362,050円全額を計上している。

(2) その他の重要な会計方針

- 預り金に係る収支の表示方法
預り金については、総額表示している。
- 食堂その他教育活動に付随する活動に係る収支の表示方法
補助活動に係る収支については、総額表示している。

2. 重要な会計方針の変更等

該当なし

3. 減価償却額の累計額の合計額 4,379,977,207円

4. 徴収不能引当金の合計額 0円

5. 担保に供されている資産の種類および額

土 地	2,405,914,057円
建 物	2,479,607,960円

6. 翌会計年度以後の会計年度において基本金への組入れを行うこととなる金額 92,241,134円

7. 当該会計年度の末日において第4号基本金に相当する資金を有していない場合のその旨と対策

第4基本金に相当する資金を有しており、該当しない。

8. その他財政及び経営の状況を正確に判断するために必要な事項

(1) 通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理を行っている所有権移転外ファイナンス・リース

- 平成21年4月1日以降に開始したリース取引

リース資産の種類	リース取引	未経過リース料残高
教育研究機器備品	5,752,250円	3,630,341円
管理用機器備品	3,781,134円	2,319,000円

(2) 関連当事者との取引

関連当事者との取引の内容は、次のとおりである。

■ 属 性	役員が議決権の過半数を所有している会社
■ 役員法人等の名称	上毛資源株式会社
■ 住 所	前橋市高井町
■ 資本金又は出資金	50,000,000円
■ 事業の内容又は職業	廃棄物処理・清掃業務会社経営
■ 関係内容	
役員の兼任等	兼任1名
事業上の関係	廃棄物処理・清掃業務契約
■ 取引の内容	校内廃棄物処理及び清掃委託
■ 取引金額	12,937,320円

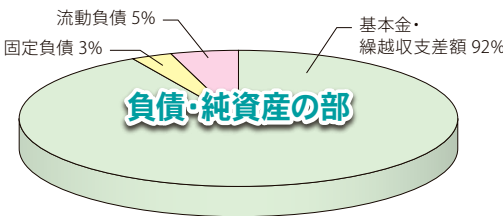
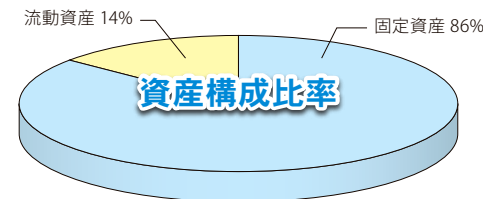
貸借対照表

平成30年3月31日現在

(単位:円)

資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(▲)
固定資産	7,740,851,002	7,351,093,705	389,757,297
有形固定資産	7,683,402,412	7,292,538,215	390,864,197
土地	3,161,760,184	3,161,760,184	0
建物	3,723,358,854	3,390,272,282	333,086,572
構築物	207,448,428	222,465,701	▲15,017,273
教育研究用機器備品	289,403,639	216,968,100	72,435,539
管理用機器備品	25,660,029	25,126,598	533,431
図書	240,867,789	231,552,719	9,315,070
車両	34,903,489	31,163,631	3,739,858
建設仮勘定	0	13,229,000	▲13,229,000
特定資産	24,362,050	29,028,750	▲4,666,700
退職給与引当特定預金	24,362,050	29,028,750	▲4,666,700
その他の固定資産	33,086,540	29,526,740	3,559,800
電話加入権	1,963,507	1,963,507	0
保険積立金	8,681,543	5,091,743	3,589,800
敷金	1,054,000	1,054,000	0
貸付金	21,269,000	21,299,000	▲30,000
その他預託金	118,490	118,490	0
流動資産	1,245,387,701	1,667,569,441	▲422,181,740
現金預金	1,198,066,986	1,621,367,212	▲423,300,226
未収入金	32,605,381	37,984,080	▲5,378,699
有価証券	723,839	723,710	129
前払金	8,570,501	5,339,535	3,230,966
仮払金	5,420,994	2,154,904	3,266,090
資産の部合計	8,986,238,703	9,018,663,146	▲32,424,443

負債の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(▲)
固定負債	246,826,746	290,536,094	▲43,709,348
長期借入金	88,415,000	120,707,000	▲32,292,000
退職給与引当金	24,362,050	29,028,750	▲4,666,700
長期未払金	134,049,696	140,800,344	▲6,750,648
流動負債	451,912,255	534,166,175	▲82,253,920
短期借入金	32,292,000	50,769,000	▲18,477,000
未払金	36,381,982	83,340,985	▲46,959,003
前受金	161,447,500	178,590,000	▲17,142,500
預り金	221,790,773	221,466,190	324,583
負債の部合計	698,739,001	824,702,269	▲125,963,268
純資産の部			
科 目	本年度末	前年度末	増減(▲)
基本金	12,118,871,388	11,550,659,218	568,212,170
第1号基本金	11,973,871,388	11,405,659,218	568,212,170
第4号基本金	145,000,000	145,000,000	0
繰越収支差額	▲3,831,371,686	▲3,356,698,341	▲474,673,345
翌年度繰越収支差額	▲3,831,371,686	▲3,356,698,341	▲474,673,345
純資産の部合計	8,287,499,702	8,193,960,877	93,538,825
負債及び純資産の部合計	8,986,238,703	9,018,663,146	▲32,424,443



学園協力会・役員会・忘年会

平成30年11月30日(金)、群馬育英学園協力会役員会が法人本部会議室で開催されました。主な議案として、サッカー部の全国高校サッカー選手権大会出場、女子サッカー部の選手権大会出場の応援協力について審議され、協力会分目標額を5,200千円とすることが承認されました。

その後、12月10日(月)午後6時より、群馬ロイヤルホテルにて、協力会忘年会が開催され、学園関係者を含めて75名が

参加しました。最初に小島秀薫会長より挨拶があり、続いて中村有三学園長、中村義寛理事長よりご挨拶を頂きました。また、高校サッカー部男子監督の山田耕介校長より全国大会へ出場する男子サッカー部、女子サッカー部への募金について協力要請がありました。

会員相互の親睦を深めるとともに、学園の教育諸活動に対する理解と協力を要請しつつ、午後8時過ぎに散会となりました。

教職員・学生の健康管理

平成27年12月に施行されたストレスチェック制度は、労働者がメンタルヘルス不調になることを未然に防止することを主な目的として、本学園でも平成28年よりストレスチェックを導入実施し始めました。ストレスをためすぎないように対処したり、ストレスが高い状態の場合は産業医の面接を受けて助言をもらった、学校側に仕事の軽減などの措置を

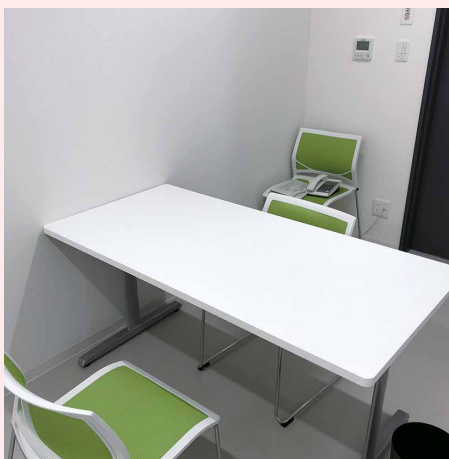
施してもらったり、職場環境の改善に繋がったりする仕組みです。

学生の心身の健康管理においても相談できる環境があり、学生支援・研究棟(G棟)の3階にある学生相談室で臨床心理士の資格を有した、心理カウンセラーの先生による完全予約制の面接相談を受け付けております。学校生活だけでなく、生活全般に対する悩み相談を行っており、当然ながら個人の秘密は厳守致しますので、安心してご利用ください。

群馬育英学園協力会会員名

(平成31年1月1日現在)

- | | | | | | |
|------------------|-------------|--------|-------------|-----------|-----------|
| ● 池下工業(株) | ● 上毛印刷工業(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 小林タイル | ● 上毛資源(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● パナソニック | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 勝山工務所 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● マエタスタジオ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 小林工業(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● イワモト | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 鹿島建設(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 群馬営業所 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 上毛印刷工業(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 群馬前橋大気堂 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 群馬電工群馬支社 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● ガードシステム(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 中央群馬工業(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株一ツコ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株ヤマト | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 宮下工業(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株足利銀行前橋支店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● ケービック(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株飯野 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 井上ビル(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株イソベスポーツ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株煥平堂 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 関東ホーチキ(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● コスモ石油販売(株)環境 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● エネルギーカーパニー | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 関東支社高崎支店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株紀伊國屋書店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● さいたま営業所 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 群馬銀行堅町支店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 群馬振興(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 群馬通信機サービス | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 群馬ロイヤルホテル | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 齊藤クレーンエート食品(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株詩季画材 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株剣堂 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株上信観光バス | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株水本園 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株上毛新聞社 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株シンドウ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株スズラン前橋店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株瀧村造園 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株東和銀行 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 本店営業部 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株登利平 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株中島フリンツ商会 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株JTB関東 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 法人営業群馬支店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株日本包装システム(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株日本旅行 高崎支店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株ぐんま安全 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 教育センター | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 前橋事務器(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株丸一ちきりや | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 前橋支店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● FVジャパン(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 群馬支店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株メモリード | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株ジャパンビバレッジ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● イースト | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 熊井戸工業(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 大塚製薬(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 高崎出張所 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株松田製パン所 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株大信工業 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株萩原土木 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● システム・アルファ(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 日本中央交通(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株群馬プロゴルフ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● ショップ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 城田興業(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● まこちゃん弁当 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株大寛建設 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株ヤマニ熱工業 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 東武トップツアーズ(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 高崎支店 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株亦野建築 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 設計事務所 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 旭鉄工(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 芝入印刷(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● タチバナ自動車工業(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株E・コネク | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株ヤマザキ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● ぷらんにんぐエース(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株シノハラゼネラル | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株ソウワデイルイト | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株アイマックス | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株赤城自動車教習所 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株ヌードウエア | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株ビーハーフ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● フジコー(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 福島産業(株) | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株ティエスエイ | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 株塚越屋 温泉宿 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 塚越屋七兵衛・香雲館 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |
| ● 全81社 | ● 関東設備(株) | ● 群馬総合 | ● 上毛印刷工業(株) | ● 池下工業(株) | ● 池下工業(株) |



育英大学 だより 育英短期大学

学生数

大学教育学部 59人

短期大学

保育学科 476人

現代コミュニケーション学科 192人

教育学部長に就任して



育英大学教育学部

学部長 新井 保幸

新春のお慶びを申し上げます。昨年(平成30年)4月、育英大学開学にあたり、教育学部長を仰せつかりました。どうぞよろしくお願ひします。教育学部には児童教育専攻とスポーツ教育専攻の2専攻があり、一期生として59名の新生を迎えることができました。本年4月には19名の専任教員全員が揃う予定です。真新しい研究棟(G棟)も建てていただきました。

悪戦苦闘が続くことも予想されます。育英大学が早く前橋育英高校や育英短期大学に引けを取らない実績を挙げることが、いと念願しておりますが、課題の困難さと責任の重さに身の引き締まる思いを禁じ得ません。関係者の皆様には育英大学の前途を温かい目で見守っていただければ幸いです。

子ども数の減る分を社会人や留学生で補うという案も出されましたが、教育学部には向いていません。この答申をめぐる研究会に参加して私が共感したのは「あたりまえのことをあたりまえにやっていく」という発言でした。この話を中村義寛理事長にお伝えしたところ、前橋育英の「凡事徹底」と同じだと言われ、意を強くした次第です。高等教育の場では「教育の質保証」が課題とされています。教員がよい授業をするのはもちろんですが、学生にも授業以外の学習に取り組むことが求められています。しかし、この大学でもうまくいっていません。アルバイトや部活動にも時間を取られるので、学生諸君も大変とは思いますが、ぜひこのことを御理解ください。また、教員が「何を教えたか」ではなく、学生が「何をできるようになったか」という力が身についたか」が問題だとも言われています。充実した教授陣と少人数教育という本学の優れた条件を活かすことで、教員養成で先行する他大学と互角に太刀打ちしていくことができると思います。前橋育英高校や育英短期大学と連携協力しつつ、学生諸君の夢を叶えるべく、教員一同一丸となって努力していく所存です。重ねて御支援をお願い申し上げます。学部長就任の御挨拶とする次第です。

短期大学学科だより



保育学科長
松本 尚

新年あけましておめでとうございます。保育学科では2年生は卒業を前にして就職活動も順調に進み、現在おおよそ8割以上が各園から内定通知をいただいております。幼稚園実習・保育実習・施設実習と全ての実習も終了し、残るは最終の単位取得と学位記授与式を控えるばかりとなりました。1年生においては、初めての



現代コミュニケーション学科長
泉水 清志

新年あけましておめでとうございませう。平成三十年度は百二名の新生が入学し、有意義な短大生活を過ごしております。また、二年生の進路決定や平成三十一年度の学生募集も順調に推移しており、社会での高い評価を喜び、皆様方のご支援に感謝しております。

今後の十八歳人口の減少や高等教育機関への進学率等の推移をふまえ、短期大学はその役割を変化させることが求められています。特に、各大

幼稚園実習(観察実習)が昨年11月に終了し、年明け1月末には初めての期末試験も行われます。そのほかに2月・3月にかけて保育園実習を控えて順調に準備が進められています。本学の保育学科においては、これらの各種実習が資格取得に欠かせないものであり、幼稚園教諭・保育士資格の国家資格を取得するうえで重要な教育の柱となっています。大学で学ぶ各授業も資格に欠かせないものでありますが、各実習の成果こそが将来の保育者となる力の源となると思われまふ。保育学科の教員一同、学生の学習環境を整え、実習・就職に向けての後押しをより一層の努力で進めてまいりたいと思っておりますので、ご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

学や学科の「強み」や「特色」をより明確化し、地域社会と連携しながら高い実務能力を備えた人材を育成することが必要です。現代コミュニケーション学科は、六つのコースの専門的知識や観点から多角的にコミュニケーション能力を修得し、その知識や能力を通して地域社会に貢献する実践的な人材を養成することが強みであり、特色であると考えます。本年も前橋育英高校との連携・接続をさらに深め、また育英大学とも協力しながら、群馬育英学園の発展のために学科教員一同努力していきたいと思います。今後とも変わらぬ皆様方のご支援、ご指導のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

教育学部専攻だより



児童教育専攻長
西谷 泉

新年あけましておめでとうございます。昨年4月に育英大学が開学し、児童教育専攻がスタートしました。児童教育専攻は、主に小学校・幼稚園の教員を目指す学校教育コースと幼稚園・保育園の教員を目指す幼児教育コースの2つのコースがあります。児童教育専攻では、現在9名の教員で、少人数の学生とコミュニケーションをとりながら、手厚く、きめ細かな指導・支援を



スポーツ
教育専攻長
朝岡 正雄

明けましておめでとうございます。皆様のご支援をいただき、育英大学教育学部は平成三十年四月に一期生を迎えて無事開学することができました。

スポーツ教育専攻における人材養成の目的は、中学校および高等学校の保健体育の教員免許が取得できるカリキュラムをベースにして、第一に学校教育のエキスパートとして活躍できる体育教員を、第二に

行っています。新入学生は、1期生であるという自覚と意欲をもって大学生活を送っています。

育英短期大学からも多大な支援をいただきながら、互いに伸びていくという高い志で取り組みを進めています。また本学の特徴でもある実習の重視の一環として、すでに近隣の小学校や幼稚園などでの学校体験、学習支援、放課後指導の援助などに多くの学生が参加し、将来教員になるための基礎経験を積みながら、その素地を着実に形成しています。

新年にあたり気持ちを新たに、2期生の学生の入学を心待ちにしながら、次年度も育英大学にとって前進の年になるように期待をしています。

は専門種目の十分な指導力を備えて部活動を指導できる体育教員を養成することにあります。さらに第三として、教員免許の取得に加えて、スポーツに関するさまざまな指導資格を取得して、子どもからお年寄りまでを対象とした地域スポーツの指導者を、そして第四として、四年間の大学教育を通して身につけた教養と体力・運動能力を生かして警察官、消防士などの地方公務員として活躍できる人材を養成いたします。

以上の目的達成のために専攻教員一同一生懸命頑張りますので、皆様方のご支援、ご指導のほど、よろしくお願い申し上げます。

第29回群馬県私立大学

スポーツ大会に参加

他大学の参加学生との交流

第29回群馬県私立大学スポーツ大会が、10月6日(土)・7日(日)にALSOCKぐんま総合スポーツセンターをメイン会場として開催されました。

「群馬県私立大学スポーツ大会」とは、大会名の通り群馬県内の私立大学が集結し、種目ごとに競い合う大会で、群馬県地域の交流や活性化などを目的としています。本学からは、女子バレーボール、女子バスケットボール、女子バドミントン、女子硬式テニス、女子フットサルの5つの競技に参加しました。10月とは思えないほどの暑さの中、参加した学生はスポーツの秋にふさわしい清々しく、気持ちの良い汗を流して頑張ってくれました。

結果としては、女子バレーボール優勝!、女子硬式テニス3位、女子フットサル3位など参加したチームがそれぞれに健闘してくれました。

大会に参加した大学と短大の学生は、他大学の参加学生との交流を図り、学内とはまた違った緊張感や楽しさを味わえたのではないかと思います。



クラブ活動の主な成績

本学の学生が本年度に活躍した主な成績は次のとおりです。

①陸上競技部

○堀口 賢志(大学：スポーツ教育：1年)

平成30年度群馬陸上競技選手権大会(6/30)

男子3000m障害：3位

○青木 花純(大学：スポーツ教育：1年)

第91回関東陸上競技選手権大会(8/25)

女子棒高跳：7位

平成30年度関東学生新人陸上選手権大会(9/14)

女子棒高跳：8位

②レスリング部

○宮原 初花(大学：児童教育：1年)

東日本学生選手権(6/28)

女子フリースタイル53kg級：3位

○富塚 拓也(大学：スポーツ教育：1年)

全日本社会人選手権大会(7/7・8)

男子グレコローマンスタイル72kg級：3位

福井しあわせ元気国体(10/2)

成年男子グレコローマンスタイル72kg級：5位

全日本選手権大会(12/21)

男子グレコローマンスタイル72kg級：準優勝

③女子バレーボール部(大学：短大)

平成30年度天皇杯・皇后杯全日本バレーボール選手権大会
群馬県ラウンド(7/8) 優勝

④アスリート部

○細谷 明日香(大学：児童教育：1年)

第51回東日本学生トランポリン競技選手権大会(5/27)

Cクラス女子：優勝

第1回群馬県トランポリン競技選手権大会(7/8)

Aクラス女子：準優勝

第10回群馬県トランポリン大会(7/8)

シントクロナイズドAクラス女子：優勝

平成29年度後期・平成30年度前期の成績優秀者奨学金授与式



平成29年度 後期 奨学金授与式(平成30年5月21日)

平成29年度後期の成績優秀者及び平成30年度前期の成績優秀者に奨学金授与式が5月21日(月)と11月1日(木)に執り行われました。奨学金は半期授業料の半額相当です。

成績優秀奨学生は、以下のとおりです。

■平成29年度 後期

成績優秀奨学生

短期大学

保育学科

1年 齋藤 絢音・拝形 夕夏・星 風花

藤井ももか・横山 紗彩

現代コミュニケーション学科

1年 掛川ほのか・丸山 優香

■平成30年度 前期

成績優秀奨学生

教育学部教育学学科

児童教育専攻

1年 中村 滯

スポーツ教育専攻

1年 上原 優希



平成30年度 前期 奨学金授与式(平成30年11月1日)

短期大学
保育学科

1年 河合杏咲美・宮下 玲音

1年 栗原 瑠花・坂井 麻由

2年 小島 結衣

2年 齋藤 絢音・塚越 真海

和佐田真林・亀山ひかり

竹内 瑞貴

現代コミュニケーション学科

1年 加藤真希里・廣井 梨花

2年 阿部 幸音・石島 綾乃

桔梗祭を終えて

桔梗祭実行委員長

岡田 マリア 愛子

今年度から新たに育英大学が設立され、短期大学と大学が合同で行う初めての桔梗祭となりました。今年のテーマは「Start Line」。新たなスタートを切り、従来とは異なることに挑戦をするという意味を込めました。

桔梗祭一日目は、ステージではクラブ・有志の発表やメイン企画の食べ物当てゲームや仲良しコンテストが行われ、また今年から新たにハロウィン仮装大会が開催され、衣装のポイントや特技な



どアピールタイムを行い、来場者の方や学生の皆さんにも投票していただき盛大に行われました。

二日目のオープニングは参加学生全員が風船を持ち、一斉に風船を手放し、たくさんさんの風船が青空に小さくなっていく色とりどりの風船をしばらく感動して



見ていました。ステージでは前日に引き続き、学生を中心とした発表や学生会企画が行われました。午後は「Turning Point」というタイトルで後夜祭が開催されました。事前に公募を行い、クラブや友達同士でこの日のために精一杯準備を行ってきた。幹部企画の抽選会では、豪華プレゼントが用意され、

大いに盛り上がりました。

二日間を通し模擬店や展示、催し物も沢山の来場者の方々や学生で盛り上がり、沢山の笑顔で溢れていました。この一年間、桔梗祭に向けて大学祭実行委員会を中心に準備をしてきました。桔梗祭を一緒に作り上げていく仲間たちや、頼りになる先生方・学生支援課の皆さんがいたことは私にとって支えとなり大きな問題が出ることもなく無事開催終了することができました。来場していただいた皆さん、学生の皆さんの楽しんでる姿を見ることができ、とても嬉しく思いました。桔梗祭にお越しいただいた沢山の皆様本当にありがとうございました。



第1回公開講座

本学では、地域連携推進事業の一環として公開講座を実施しており、地域の皆様の生涯学習の一助となればと考えている。平成30年度は、次の講座を実施した。

■第1回 2018年11月24日 (土) 10時～12時

演題 「小学校教師や中高保健体育教師のための楽しいスポーツ運動会」

講師 和田博史(育英大学教育学部児童教育専攻 講師)

会場 育英大学・育英短期大学体育館

対象 保健体育関係の教師やコーチ



今回参加された方は、幼児活動研究会のメンバーで会社員であった。講座では、自己の理想とする教師像の深化とそれに応じたスピーキングスキルの向上、次に良い体育授業や英語圏の教育の動向、教師教育の動向に

ついて情報提供し、その後、実際にマット運動の指導について実技指導や議論を行った。

■第2回 2019年1月12日 (土) 10時～12時

演題 「歌と影絵で表現する童謡100周年「カナリヤはうたをわすれない」」

講師 内田基美(育英短期大学保育学科教授)

渡辺一洋(育英短期大学保育学科准教授)

会場 育英大学・育英短期大学桔梗ホール

対象 子どもから大人まで

■第3回 2019年1月12日 (土) 10時～11時30分

演題 「日常生活でのおもてなしのすずめ」

講師 佐藤由利(育英短期大学現代コミュニケーション学科非常勤講師、元JALサービス訓練教官)

会場 育英大学・育英短期大学114教室

対象 一般

■第4回 2019年1月12日 (土) 10時～11時

演題 「マット運動が上手くなる!!」

講師 正保佳史(育英大学教育学部スポーツ教育専攻講師)

会場 育英大学・育英短期大学武道場

対象 幼児～小学生

短期大学幼児教育研究所

リカレント講座

本研究所では、幼児教育・保育に携わる方々を対象にした「リカレント講座」を実施しており、少しでも地域に貢献できればと考えている。また、当日は講演のほかに所員による個別相談も実施した。

平成30年度は、次の講座を実施した。

■7月7日(土) 17時30分～19時

演題 「保育の悩み」ポストイットを

使ったグループディスカッション

～保護者・幼児・同僚との関係つ

くり どうしたらいいの～

講師 学校法人飯塚学園清風幼稚園

主任 鈴木優子先生



■12月7日(金) 18時～19時30分

演題 「組織の中で自分らしく働き続け

るために」

講師 高崎健康福祉大学教職支援セン

ター長 高梨圭子先生



育短リレーコラム

未来へつなぐ紙芝居

保育学科

准教授

渡辺 一洋



郷土の民話には、大人から子どもへ伝承していききたい郷土愛や歴史があり、保育の中の読み聞かせや小学校の調べ学習などにも用いられている。

「今年度、群馬県吉岡町に伝わる民話を紙芝居にする企画があるので、絵の方を担当していただけないでしょうか」と吉岡町図書館から連絡があったのは7年前のことだ。それまで、私自身、紙芝居の絵を描いたことはなかったが、新しい移住者が多くなる中で、町の文化を子どもたちに伝えたいという熱意に心動かされ、この企画に協力することとなった。

私が担当したのは「鬼の又三郎」という民話だ。その概要はこうだ。「昔、吉岡町に又三郎という力持ちの

大男がいた。多くの怪力伝説を残していたが、ある時、村の相撲大会で男衆の一人を投げ飛ばし、大怪我をさせてしまった。そのことを申し訳なく思った又三郎は、その男の代わりに男の年老いた母親を手伝って畑を耕し、毎年豊作にした。その伝えから、吉岡町では作物がよく穫れる畑のことを、鬼又の畑のようだというようになったという」

民話をまとめた地元の詩人・大塚史朗氏、図書館関係者とともに、紙芝居の取材のために、民話の中に出てくる吉岡町内の橋や川、史跡などを巡った。船尾滝、森田家本陣、ふる里（おつきりこみの店）などにも訪れた。物語の情景や又三郎の人物像をイメージして、100枚以上の下絵を描き、それをもとに打ち合せを重ね、さらに絵を仕上げていった。最終的に19枚の紙芝居になった。完成した紙芝居は、現在、吉岡町の小学校などで活用されている。

激動の平成という時代が幕を閉じようとしている。この先の新しい時代の教育の中でも、郷土の民話、紙芝居を通して、子どもたちの感性が豊かに育まれることを願っている。

会
翔
飛
だ
よ
り

平成30年度定期総会

支部会の開催

【定期総会】

平成30年度定期総会が5月19日(土)午後3時から本学の125教室で開催された。

定期総会では、平成29年度事業報告、決算報告、会計監査報告があり了承された。続いて、平成30年度新役員の選出がされ、新旧役員の交代が行われた。次に、育英大学開設に伴う会則の改正、事業計画案、予算案が審議され、原案どおり承認された。その後、総会をもって任期満了により退任される各副会長(支部長)、監査計7名に学長より感謝状と記念品が贈呈された。



定期総会 議事説明

【支部会】

第1回支部会が、7月14日(土)に東毛・北毛支部、7月21日(土)に中毛・西毛・県外支部が各地域で開催された。各支部会では、定期総会報告、クラブ活動、各学科の取組、取得可能な免許・資格、実習や進路などについて説明が行われ、参加した保護者からは様々な質問があり、大学との意見交換が活発に行われた。大学支部会は1月26日(土)に、第2回の短大支部会は合同で2月2日(土)に開催を予定しております。多数の参加をお待ちしております。

【桔梗祭「青空市場」】

10月27日(土)の桔梗祭1日目に、恒例となっている「青空市場」を出店した。

「青空市場」では、新鮮野菜や果物、お菓子すくい、焼きまんじゅう、飲料が格安で販売され、盛況の内に終了した。実行委員の方々には多数の参加をいただき、桔梗祭を盛り上げることができた。「青空市場」の収益金1

06,055円は、学生図書として「紙芝居」「世界の教科書」「英語で読む世界の文学全集」を本学図書館に寄贈した。皆様のご協力に感謝申し上げます。



青空市場

桔梗会だより

10月27日(土)・28日(日)に開催された桔梗祭において、会員の方々の協力を得、今年も同窓会ブースにて模擬店出店を行いました。好天にも恵まれ、多くのお客様に訪れていただき賑やかに交流することができました。6月30日に開催された総会では、新設の育英大学を含めた育英大学・育英短期大学桔梗会と

後援会だより

平成30年度定期総会

平成30年度定期総会が7月29日(日)午後4時からホテルラシーネ新前橋において開催された。

定期総会では、平成29年度事業報告、決算報告、会計監査報告があり了承された。続いて、平成30年度新役員の改選が行われ、新たに飛翔会副会長である5名が加わった。次

に、育英大学開設に伴う会則の改正、事業計画案、予算案が審議され、会則の一部修正があり、その他は原案どおり承認された。

また、事業費については、大学の指定強化クラブ(陸上部、レスリング部、バレーボール部)に対して支援を厚くすることとした。その後、大学から卒業生の進路の状況、入学者の状況、クラブ活動の状況などについて説明があり、後援会としてできる限りの支援をしていくことが確認された。

して一体運営、スタートすることが承認されました。今後の同窓会活動の更なる活性化に向けた協議が行われ、同窓会活動の方向性が示されました。

今年度の主な事業においては、卒業謝恩パーティーへの経費補助、卒業生への記念品贈呈、桔梗祭・カミングキャンパスデイ特別補助、求職登録のサポート等の事業が承認され、同窓会として在校生、卒業生への支援を深めていきたいと思っております。

今後、更に関係各団体とも連携を強化し、育英大学・育英短期大学発展のため尽力していきたいと思っております。皆様方のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



育英高校だより

生徒数

普通科	1,409人
保育科	268人

年頭のあいさつ



前橋育英高等学校

校長 山田 耕介

「ひとりになれる」です。

新春のお祝いを申し上げます。一年のスタートにあたり、皆さん一人ひとりが自分を伸ばすため「ひとりになれる」と思っています。「ひとりになれる」は自分で考え、自分で判断して行動できる力を身につけることです。「自律」「自立」です。どちらもとても大切です。「計画を立てても実行できない」「つい楽な方に流されてしまう」「人がどう思うかを気にして自分の考えが言えない」などです。「じりじり」するためには、自分というものをしっかりと自覚し、確立することが必要です。人間は、何のために学ぶのか。それは自分の夢や志を実現するためであり、自分の力で生きていくためです。そしてそれが大人になるといえることです。自分のことは自分でよく考え、自分で決めて自分の力で実行する。このことが、

「ひとりになれる」は、仲間のなかで一人ひとりが輝き、力を合わせて一つのことをやり遂げること。つまり「人と共に生きる・人と力を合わせ働く」ということです。「ひとつになる」ためには、人のよさやがんばりを認めあうことが必要です。誰かが一生懸命に取り組んでいることを応援したり、自分ができることはないかと考えたり、一緒に活動しようとして行動したりすることが大切です。

人を尊敬する気持ちや他の人を大切にできる気持ち、自分の周りにはいる人々への感謝の気持ちが必要ならば、ひとつにはなれません。学校生活のさまざまなこと、部活動、クラスの友だちのため、自分の力や持ち味を生かそうとすること、それが「ひとつになれる」です。

一人ひとりが様々な場面面で自分を伸ばすようにがんばること、人と人との関わり大切に気づき、実践していきましょう。

副校長挨拶



副校長 金子 雅人

昨年は、第96回全国高校サッカー選手権大会・初優勝でスタートを切りました。山田監督就任36年目の悲願の日本一でした。そして、4月には、学園創立からの悲願でもあった、四年制の育英大学が開学しました。喜ばしいことではありますが、これから迎える少子化時代に当たり、あらためて大学・短大・高校のより一層の連携と発展を目指し、取り組むべき多くの課題があると感じています。

さて、年末から年始にかけて男子バスケットボールの全国大会では、多くの方々の応援と支援をいただき大変ありがとうございました。今年も本校スポーツの活躍に期待していただければと思います。そして、これから大学受験本番を迎える本校生徒たちには、体調に気をつけて、ひとりでも多くの志望大学合格を勝ち取ってもらいたいと期待しております。

今年の五月一日より新元号のもと新時代を迎えます。本校においても気持ちを新たに全力で頑張りますので、よろしくお願ひします。

教頭挨拶



教頭 神山 義幸

新春の御祝いを申し上げます。

さて、平成最後の年を迎え、時代の節目を感じますが、高校の現場でも15歳人口の急激な減少による募集等の影響が本格化し、新たな戦略の必要性を実感しています。スポーツの実績では全国でも屈指の有名校になったいま、これからは公立志向の強い群馬県にあってはやはり進学実績の向上が重要になってくるのではないかと考えます。現在も先生方の努力により県内私学の中でもかなりの実績を上げておりますが、ハード面も含めてより進学面での教育環境を整えていく必要性を実感しております。また、「進路実績と取り組み」で進路指導部主任の渡辺もふれておりますが、まもなく大学の新制度入試が始まり、新学習指導要領の実施も控えています。現在、教務部・進路指導部が中心となりそれらへの準備を進めておりますが、この事を契機に高校だけでなく、本部・短大・大学と連携し、学園全体で新たな高校の方向性を考えていければと考えております。私自身、より良き学校作り、地域からより愛され、中学生・保護者から選ばれる学校を目指し、今年も微力ではありますがが尽力したいと思ひますのでよろしくお願ひします。

事務長挨拶



事務長 武田 雅彦

新年あけましておめでとうございます。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

さて、この3月に本校の第54期生が卒業式を迎えますが、今年度の卒業生は、非常に貴重な体験をした生徒達と言えるでしょう。

入学以来、毎年欠かさず母校が「夏の甲子園」「冬のサッカー選手権」という高校スポーツ界で最も注目される大会への出場を果たし、更に2年次のサッカー選手権では初の全国制覇も経験することができました。このような素晴らしい実績を残してくれた選手達、指導をされた先生方、選手を支えて頂いた保護者の方々、応援して頂いた全ての方々の努力と情熱に敬意を表します。

残念ながら私は本校の同窓生ではありませんが、前橋育英で青春時代の3年間を過ごし、たくさんの思い出を残した生徒達を本心にうらやましく、また誇らしく思います。

第97回全国高校 サッカー選手権大会出場

男子サッカー部

監督 山田 耕介

5年連続22回目の全国高校サッカー選手権大会、今年度は連覇に向け、チャレンジする大会でした。

黄・黒の縦縞を背負うということ、黄・黒の縦縞に袖を通すということは、みんなの想いを背負うことなのです。生徒達は全力で戦いました。前橋育英の誇りを胸に、勝つために練習を積み重ねてきた。弱い自分に勝つために、大好きなサッカーを楽しむために、喜びのために、皆の笑顔のために、必死に練習してきました。部員一丸となって前育のサッカーを全国に見せつけるために。しかし結果はベスト16で敗退。うまくいかないのがサッカー。本当にむずかしいと実感しました。

この数年の決勝の舞台は、青森山田、流経柏、前橋育英の3校のみです。来年またこの舞台にもどってくるために、諦めることなくチャレンジしていきたいと思っています。

最後になりますが、今大会出場に際し皆様より心温まるご支援、心奪う大声援を賜り、心より感謝申し上げます。三年生のみんな、最後まで仲間のため、自分のためにがんばってくれてあり

がとう。これからの飛躍を期待しています。



全日本高等学校女子 サッカー選手権大会出場

女子サッカー部

監督 大手 真智子

この度、全日本高等学校女子サッカー選手権大会では、たくさんの方の応援がありとうございました。私達が、ここまでこれたのも多くの皆様方のおかげです。この場をお借りして心から感謝申し上げます。

私達は、一回戦岡山県代表である岡山作陽高校と対戦しました。「リベンジ作陽」を合い言葉に闘いました。前半、主導権を握り、果敢にゴールを攻め続けました。そして、後半二〇分見事先制。喜

ぶのも束の間。その後一分、まさかの同点。残念ながらPK戦で、涙を吞みました。選手、応援団みんなが一つになって本校のために、最後まで諦めずに闘ってくれました。今年のチームは、「関東大会優勝」「インターハイ三位」という輝かしい歴史を作ってくれた三年生に心から感謝しています。本当にありがとうございます。最高の三年生でした。

最後になりますが、この悔しさを一日も忘れることなく今年一年、心・技・体を鍛え抜いて精進していきたいと思っています。更に新しい歴史を作っていけるよう新たなチャレンジをしていきたいと思っています。これからも女子サッカー部への温かい応援よろしくお願い致します。



ウィンターカップ

2018出場

男子バスケットボール部

監督 加賀谷 寿

4年連続でのウィンターカップ出場、昨年以上の結果を目指そうとチーム一丸で大会に臨みました。一回戦は大阪代表の近大付属高校で下馬評では対戦相手が有利とされてましたが、結果的には圧勝での勝利でした。二回戦は岡山商大附属高校との対戦で前半は2点リードされて折り返しました。後半は今年のチームの象徴である激しいディフェンスが機能して失点を抑えて勝利することが出来たと思います。

三回戦はベスト8進出を懸けて宮城明成高校との対戦で昨年度の優勝チームで、この四年間で三度目の顔合わせでした。後半は攻守をしっかりと頑張りましたが、前半の得点差が響き敗戦となりました。

今年は非常にまとまりのあるチームであり、3年生が率先してチームの仕事をしてくれたことに感謝しています。ありがとうございます。

今回のウィンターカップで会場に応援に来て下さった学校関係者や保護者には感謝しております。本当にありがとうございます。

これからも男子バスケットボール部への応援を宜しくお願いします。



第100回全国高等学校 野球選手権記念大会出場

硬式野球部

部長 中沢 洋一

三年連続4回目の夏の甲子園。前評判は決して高くなかったチームは、試合を重ねるごとに力をつけ、そして、甲子園の大観衆の前で堂々とプレーするまでになった。

今チームは悔しい思いを強くしていた。昨秋県8強、今春は準決勝で健高大崎に完敗。夏の群馬大会に入っても攻めきれない場面が目立った。しかし、厳しい状況乗り越え、チームにまとまりが生まれた。決勝の健高大崎戦では、3点リードされた八回に追いつき、九回に2本の適時打でサヨナラ勝ち。まさに激戦であった。最強打線"をほこる相手に、投手を中



心に「攻める守備」を貫き、チーム力でもぎ取った勝利であった。そして臨んだ選手権記念大会。初戦は近大付の注目左腕との投手戦を2対0で制し、今大会完封一番乗り。息の合ったバッテリーを中心にピンチの場面に集中力を切らさず、少ない好機で適時打を放つての勝利であった。つづく2回戦の近江戦は、四回から救援した相手左腕の変化球に苦戦。三回以降得点を奪えず、また、毎回走者を背負う苦しい展開になった。3対3で迎えた九回、持ち前の粘りも及ばずサヨナラ負けした。ただ、随所に前橋育英らしいプレーで目の肥えた観衆をうならせた。中でも八回のバント処理は、今チームの真骨頂であった。

この夏にベンチ入りした六人の下級生はもろろん、スタンドで声

をからし精一杯の応援をした。二年生が、必ずやこの貴重な経験を次に繋げてくれると確信している。更なる前進のため、今後も真摯に取り組む所存である。

最後になりますが、今大会出場に際し、多くの皆様より心温まるご支援、心震える大声援を賜り、心より感謝申し上げます。

ありがとうございます。



第53回 群馬県高等学校 総合体育大会

保健体育主任 原口 秀樹

平成三十年度第五十三回群馬県高校総体が五月十一日の開会式で始まった。今年は開会式で前橋育英はプラカード係を担当した。昨年度は最終種目の陸上競技を前にして前橋高校の優勝が決定していて非常に悔しい思

いをした。今年はまず、行進の優秀校を、男子総合優勝、女子上位入賞を目指した。五月七日現在では、二位に差をつけ、一位であった。開会式ではまず、行進の優秀校を勝ち取り幸先の良いスタートが切れた。十三日まで大半の種目を終了して、バスケット男子、サッカー男子・女子、柔道男子、競泳男子と男女五種目で優勝をしていた。しかし、昨年同様、陸上を前にして、前高、前商が優勝や上位に目立ち厳しい状況であった。そして、二十日の夜に結果が出た。結局、三点差で今年も優勝を逃した。この負けを来年へつなげる。Never Give up.



平成30年度 体育祭開催

生徒会顧問 岡田 裕樹

実施種目

校庭種目(五種目)

部活対抗リレー、長縄
二人三脚リレー、綱引き
類別クラス対抗リレー

球技種目(三種目)

バスケットボール
バレーボール、ミニサッカー

一・二年生は初めて、三年生は二度目となる体育祭が、十月十七日(水)に開催されました。前回、前々回と雨の中での体育祭が続きましたが、今年は晴天にもめぐまれ、予定されていた全日程を無事実施することができました。

開会式に続いて行われたのは、先生方と保護者の方々による長縄です。先生方や保護者の方の、普段とは違った姿を生徒たちが見られる時間となりました。

長縄の後は、部活対抗リレーが行われました。参加した各部がそれぞれの部の個性を存分に発揮し、見ている生徒たちも大いに楽しむことができました。

十時からは校庭と野球場、二つの体育館に分かれて、校庭種目と球技種目が行われました。綱引きで保育科女子クラスがIV類男子クラスに勝利するなど、大いに盛り

上がった対戦もありました。どの会場でも、選手と応援生徒が一丸となって相手に挑む、白熱した試合が展開されました。

昼食を挟んで午後は、クラス対抗リレーが類別に行われました。他競技はなく、全校生徒が見守る中、体育祭の締めくくりとして盛り上がる事ができました。

生徒会ではクラスが、学年が、さらには全校が一体となるように考えて企画を立てました。競技中だけでなく、いろいろな場面で一体感を感じてもらえていれば、生徒会としても嬉しい限りです。

最後に、開催に当たり準備や運営に関わっていただいた先生方、企画や当日の進行を担当してくれた新旧生徒会総務および体育祭実行委員、ご参加いただいた保護者の方々に感謝を申し上げます。



平成30年度 進路実績と取り組み

進路指導部主任 渡辺 貴弘

「生徒の学びと進化をサポートする」というスローガンのもと、2019年度入試においても幸先の良いスタートを切ることができました。推薦入試・AO入試において旧帝国大学の1つである東北大学を初め、国公立大学に14名、早稲田・慶應など難関私立大学にも複数の合格者を出すことができました。これは生徒一人ひとりの努力の成果であると同時に多くの方々の支えがあったからこそ成果だと感じています。

近年の入試の特徴としては国立大学における推薦・AO入試

の拡大、私立大学の入学定員厳格化などが挙げられ、今後行われる一般入試においては厳しい戦いが予想されます。特に私立大学では入学定員の厳格化を懸念して併願校数を増やす動きや、国立大学の後期日程を中心とした募集人員減少のために国立大学を避ける動きなど、私立大学の志願者数は増加傾向が続いています。

また、2020年入試改革の一つ「大学入学共通テスト」ですが、2回の試行調査が行われ、作問の方向性も明らかになってきました。国語・数学における記述式問題がクローズアップされていますが、複数の情報(文章・図・資料)を組み合わせて思考・

判断させる問題や高校での学習場面を想定した問題などこれまでの大学入試センター試験とは違った観点からの出題が予想されます。さらに推薦入試は学校推薦型選抜、AO入試は総合型選抜と名称を変え、評価方法に関して小論文・学科試験・口頭試問までは大学入学共通テストが必須となります。現1年生は進路決定の方法を問わず、これまで以上に主体的に学業に取り組まなければならぬ状況にあります。

2019年度入試もいよいよ本格化します。多くの3年生が希望進路実現に向け、最後の勝負に向かっていきます。未来を切り開くために頑張っている生徒への応援をよろしく願います。

修学旅行

二年生主任 阿久津 広嗣

十一月六日から三泊四日で修学旅行I期が行われました。神山教頭を団長として、普通科I・II・III類、保育科の十三クラス、生徒総勢四四六名が参加しました。

この修学旅行の最大の目的は、沖縄での戦争の歴史に触れ、平和について考えることでした。二日目は全クラスが入壕体験やひめゆりの塔、平和祈念公園等を見学し、事前指導で観た「白旗の少女」のストーリーや黒木先生による特別講義の内容が現実のものとして認識でき、改めて戦争の愚

かさや平和の尊さを実感する日程となりました。これまで行われていた戦争体験者による講話は実体験をお持ちの方の高齢化で実施できませんでしたが、生徒には嘗ての激戦地に流れた壮絶な空気と犠牲者たちの叫びを十分感じ取れたのではないかと思います。

後半は各クラス、リゾート地としての沖縄を実感する日程を過ごしました。今回の日程は地元の人にも驚くほどの好天に恵まれ、ビーチでバーベキュー体験等をしたクラスの生徒は「これぞ沖縄」と一生忘れることのできない時間を過ごせたものと思われれます。

途中体調を崩した生徒も数名



いましたが、大事には至らず参加した生徒が全日程を無事に終えたことが何よりでした。保護者の皆様、ご協力ありがとうございました。

優秀前橋育英生表彰

12月20日(木)

12月20日(木)2学期終業式の前に「優秀前橋育英生」表彰式が行われました。



平成30年度優秀前橋育英生 表彰式

女子サッカー部

伊藤有里彩(2年)

FIFA U-17女子ワールドカップ

ウルグアイ2018 出場

ボウリング

渡辺莉央(2年)

JOCジュニアオリンピックカップ

第42回全日本高校ボウリング選手権大会

優勝

福井しあわせ元気国体2018

第73回国民体育大会少年女子

優勝

放送無線部

大林菜々(2年)

第65回NHK杯全国高校放送コンテスト

朗読部門 出場

2018信州総文祭

朗読部門 出場

受賞者代表お礼の言葉

ウエイトリフティング部 原さん

指導して下さった方や応援して下さる方に感謝の気持ちでいっぱいです。この受賞を自信のひとつとしさらに活躍できるよう頑張っていきます。本日はありがとうございました。



(左から)大林さん・渡辺さん・伊藤さん
榎本君・石川さん・古澤君・原さん

ゴルフ部

石川美友夏(3年)

2018PGM世界ジュニアゴルフ

選手権 女子15-18歳の部 出場

男子サッカー部

榎本 樹(3年)

U-182018SBSカップ

国際ユースサッカー 出場

陸上競技部

古澤 一生(1年)

第3回ユースオリンピック競技大会

棒高跳 銀メダル

第20回全国高等学校女子ウエイトリフ

ティング競技選手権大会53kg級 優勝

日・韓・中ジュニア交流競技会53kg級 優勝

陸上競技部

古澤 一生(1年)

第3回ユースオリンピック競技大会

棒高跳 銀メダル